

## 検査に対する品質向上と体制強化

### 1. 概要

NRA殿には9月7日より2チーム体制にて検査を取り進めて頂いている中で、検査を有効に実施するためには改善が必要な事項があるとのことご指摘を頂いております。

当社としましては、これに対し、速やかに改善を図るべく、内容に応じたCAP活動（不適合処置）を行うとともに、必要なルールの改善や周知、及びチェック体制の強化を行い、検査の品質向上に向けた取り組みを実行していきたいと考えております。

### 2. 検査に対する品質向上

以下の事項に関して、検査で指摘頂いた事項に関して、改善を進めます。  
詳細は次頁に示します。

- A. 検査におけるルールの改善
  - (1) インターロックの設定と検査における検査値
  - (2) 検査記録への図面の添付
  - (3) 面速等の測定値の記載（実測値データ）
- B. 仕様表における検査項目の抜け防止
- C. 過去の不適合処置等の実施（材料の相当品の検査）
- D. 検査記録の品質改善（単純ミスの撲滅）
- E. 検査を効率的に進めるための措置
- F. 1号検査と2号検査の関係性
- G. その他

### 3. 今後の体制強化等の改善について

上記に示すように、当社としてCAP活動により改善を行うとともに、検査を円滑に進め、工程の遵守に資するよう、現在、検査記録作成段階の補助要員を増員しておりますが、これに加え検査者及び検査助勢者の増強も行うこととします。NRA殿には、既に2チーム体制で検査を進めて頂いておりますが、進捗状況等も踏まえ、3チーム体制での検査につきご検討をお願い致します。

## 検査に対する品質向上

改善分類	改善項目	改善内容
A. 検査におけるルールの改善	(1) インターロックの設定と検査における検査値	2号検査であるインターロックの検査において、「検査時には制限値でなく、実際に使用するインターロック設定値にて検査を行うこと。」とのご指摘があったため、ルール変更して検査する。（実際の設定値で試験することに変更）。また、入力信号で検査する場合は、作動値は表示値ではなく、入力信号値を記載する。
	(2) 検査記録への図面の添付	検査要領書の手順に配置図等の図面記載があるものは、該当する図面を検査記録に添付することとする。また、材料検査において測定対象が複数ある場合は、検査箇所の部材が明確となるよう記載する。（フードの検査）
	(3) 面速等の測定値の記載（実測値データ）	面速に関しては、フード開口部での面速を測定している。検査記録として判定値のみを記載していたが、測定値も検査記録に添付することとする。測定をした項目については、測定値を添付する。
B. 仕様表における検査項目の抜け防止	対象検査項目の抜け防止	仕様表に記載の項目に関しては、様式2で抜けのないことの確認を行うこととしているが、検査の段階においても、念のため再チェックを行い、検査対象項目が仕様表と相違ないことを確認する。
C. 過去の不適合処置等の実施	材料相当品の扱い	加工棟でのアンカーボルトの検査における不適合処置内容（カタログで示して検査をしたものが不明確であったため、材料の非破壊測定を行い相当品ということを示す検査を実施する）で確定したので速やかに処置する。
D. 検査記録の品質改善	検査日の明確化、記載の抜け防止等	品質記録の中の材料測定における検査記録の引用について 測定した日付で引用している記録があったことについては、最終判定日を引用するように改善する。また、評価記録について、材料測定は実施し確認しているが、評価結果の記載欄に材料の記載不足があったことに対しては、第三者によるチェックプロセスを組み込むとともに、事例と検査者へ周知し、誤記等の単純ミス撲滅を図る。
E. 検査を効率的に進めるための措置	要領書と記録フォームの改定番号の対応	要領書の改定の場合に、記録フォームの改定番号は変更する管理をしていないことから、要領書と記録フォームの改定番号が異なる場合がある（建物関係で事例あり）。検査効率化のため、旧要領書番号も含め要領書を準備して検査に臨むこととする。
F. 1号検査と2号検査	1号検査と2号検査の関係性	2号検査の前に必要な1号検査が全て完了する検査計画を立てているが、確実に検査遂行するべく、工程管理を継続して行う。
G. その他	その他指摘事項	工事完了時の確認の徹底等、上記以外にもご指摘頂いた点に関しても、迅速に対応していくこととする。